※令和5年度以降入学生用

学校番号	1009

令和5年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	1	・Harmony English Logic and Expression Ⅰ ・Harmony English Logic and Expression Ⅰ Grammar Book ・総合英語 Harmony New Edition

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

「論理・表現Ⅰ」は，中学校において育成したコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ，「話すこと［やり取り］」，「話すこと［発表］」及び「書くこと」の三つの領域を中心とした発信能力の育成を強化することである。そのために目標・場面・状況を設定した様々な活動を通して、話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになることを目標としている。したがって生徒の主体的な話す、書く、の取り組みが必要である。

各 Lesson で紹介される Interactions や Active Learning の表現を具体的な状況で使えるように練習することで、将来的に英語での表現力を培うことができる。文法学習に留まることなく、それらを活用できるように学習を進めることを期待する。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第1学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標			①興味や関心のある日常的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、相手の発話に応答しながら会話を続けることができる。 ②興味や関心のある社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、相手の意見を踏まえながら考えつつ整理して議論を続けることができる。 ③日常的な場面や状況において、多くの支援を活用すれば、相手と必要な情報のやり取りをしながら課題を達成することができる。	①日常的な話題に関する経験や描写を、多くの支援を活用すれば、考えや気持ちを交えながら、話を整理して伝えることができる。 ②社会的な話題に関する情報に基づいた説明を、多くの支援を活用すれば、相手の理解に配慮しながら、分かりやすく伝えることができる。 ③社会的話題に関して、多くの支援を活用すれば、相手に分かりやすいように考えを整理して、意見を展開することができる。	①日常的な話題に関する経験や描写を、多くの支援を活用すれば、考えや気持ちを交えながら、話を整理して書くことができる。 ②社会的話題に関して、多くの支援を活用すれば、相手に分かりやすいように考えを整理して、意見を展開して書くことができる。 ③日常的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、特定の相手や、相手のメッセージを踏まえてメールやチャット等を書くことができる。 ④日常的な場面や状況において、多くの支援を活用すれば、必要な情報を用いながら手紙や

※令和5年度以降入学生用

					メール等を書いて課題を達成することができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	論理の構成や展開及び表現などに関する英語の表現を身につけているかを評価する。 （評価方法） 「Grammar Book」の各 Lesson の問題の記述と定期テストによる知識・技能を問う問題への正答率から評価する。 「英単語 Stock3000」をつかい、授業中の小テスト定期テストによる知識・技能を問う問題への正答率から評価する。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会 的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手 の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったり することができているかを評価する。 （評価方法） 「 Harmony English Logic and Expression 」上の各 Unit にある Active learning の share の会話ほか write の記述表現を問う問題の正答率、パフォーマンス課題の成果物などから評価する。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手 に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを評価する。 （評価方法） 「 Harmony English Logic and Expression」の各 Unit にあるライティング活動とリライトの比較によって評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価基準	評価方法
I	Lesson I Meeting New People	話すこと （やり取り）	a:現在形、現在進行形を適切に用いて、会話できる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し現在進行形などを用いて伝えたり、相手から質問に答えたりできる。 c: 事柄や話題について、内容を整理し現在進行形などを用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと （発表）	a: 現在形・現在進行形を適切に用いて，自分のことや身の回りのひとについて説明することができる。 b: 新しいクラスメイトに知ってほしいことを整理して，自己紹介をすることができる。 c: 自己紹介の冒頭・しめくくりでは，クラスメイトに対し，語りかけるようにあいさつを述べることができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ

※令和5年度以降入学生用

I		書くこと	a: 状態動詞、動作動詞の現在形を用いて正しく英文を書くことができる。 b: 自己紹介を5文以上で書くことができる。 c: 自己紹介を5文以上で書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson2 Last Weekend	話すこと（やり取り）	a: 実際にしたこと（事実）と、それをして思ったことを区別して伝えることができる。 b:モデルの会話の人物になりきって週末にしたことを説明することができる。 c: :モデルの会話の人物になりきって週末にしたことを説明しようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと（発表）	abc: 過去形・過去進行形を適切に用いて，最近したことについて説明することができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a: 過去形、過去進行形を用いて正しく書くことができる。 b: 先週末にしたことやその感想を書くことができる。 c: 先週末にしたことやその感想を書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson3 Weekend Plans	話すこと（やり取り）	a: 未来の表現を適切に用いて、会話できる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し未来の表現を用いて伝えたり、相手から質問に答えたりできる。 c: 事柄や話題について、内容を整理し未来の表現を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと（発表）	abc: 未来の表現を適切に用いて，これからする予定のことについて説明することができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a: will+動詞の原形、be going to+動詞の原形を用いて、正しく英文を書くことができる。 b: 週末の予定について書くことができる。 c: 週末の予定について書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson4 Weekend Plans	話すこと（やり取り）	a:現在完了形を用いて、会話できる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し現在完了形を用いて伝えたり、相手から質問に答えたりできる。 c: 事柄や話題について、内容を整理し現在完了形を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと（発表）	abc: 現在完了形を適切に用いて，完了したことや経験したこと，継続的にしていることについて説明することができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a: 現在完了形を正しく用いてこれまでに経験したことについて書くことができる。 b:自分の体験について短いスピーチを書くことができる。 c: 自分の体験について短いスピーチを書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	中間考査			
	Lesson5 School Rules	話すこと（やり取り）	a:助動詞を用いて会話できる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し助動詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えたりできる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポート

※令和5年度以降入学生用

I			c: 事柄や話題について、内容を整理し助動詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	フォリオ
		話すこと（発表）	abc: 助動詞を適切に用いて，可能であることやしなければならないこと，依頼したいことについて説明することができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:助動詞を用いて、可能であることや許可を与える英文を正しく書くことができる。 b:学校の生活のルールについて交換留学生に伝えることができる。 c: :学校の生活のルールについて交換留学生に伝えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson6 Are you All Right?	話すこと（やり取り）	a:ある出来事について推測を述べることができる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し助動詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えたりできる。 c: 事柄や話題について、内容を整理し助動詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと（発表）	abc: 助動詞を適切に用いて，可能性があることや推量,確信や推測,過去の出来事の推測について説明することができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:助動詞を用いて、可能性があることや推量できることの英文を正しく書くことができる。 b: 不思議なものについて推測して書くことができる。 c: 不思議なものについて推測して書こうすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson7 Things Japanese	話すこと（やり取り）	a:受動態を適切に用いて会話できる。 b:事柄や話題について、内容を整理し受動態を用いて伝えたり、相手から質問に答えたりできる。 c:事柄や話題について、内容を整理し受動態を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと（発表）	abc: 受動態を適切に用いて，だれに・何にされたのか，いつ・どこに～されるか，何かによって引き起こされる喜びや驚きについて話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:受動態<be ＋過去分詞>を用いて英文を正しく書くことができる。 b:日本のものを紹介する文を書くことができる。 c: 日本のものを紹介する文を書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson8 Talking about Dreams	話すこと（やり取り）	a:不定詞を適切に用いて会話できる。 b:事柄や話題について、内容を整理し不定詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えたりできる。 c: 事柄や話題について、内容を整理し不定詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと（発表）	a: 不定詞を適切に用いて，「～することは…だ」，「何をするか」「何をすべきか」，「～しないこと」といった表現を使用しながら話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:不定詞を（副詞的用法）を用いて会話できる。 B:将来の夢について不定詞を使って書くことができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査

※令和5年度以降入学生用

			c：将来の夢について不定詞を使って書こうとすることができる。	c. リフレクション、ポートフォリオ
	期末考査			
2	Lesson9 To Keep Fit	話すこと （やり取り）	a:不定詞を適切に用いて会話できる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し不定詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えたりできる。 c: 事柄や話題について、内容を整理し不定詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと （発表）	abc: 不定詞を適切に用いて，あるものに説明を加えたり，あることについての目的を説明したり，感情の原因について話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:不定詞（形容詞的用法、副詞的用法）を用いてものの説明を正ししく書くことができる。 b:健康維持のコツについて不定詞を使って書くことができる。 c: 健康維持のコツについて不定詞を使って書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson10 Our Future Devices	話すこと （やり取り）	a:使役動詞、知覚動詞を適切に用いて会話できる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し使役動詞、知覚動詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えたりできる。 c: 事柄や話題について、内容を整理し使役動詞、知覚動詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと （発表）	abc: 使役動詞・知覚動詞などを適切に用いて，誰かにしてほしいことや誰かにしてもらいたいこと，一部始終を見たり聞いたりするという状況について話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:使役動詞を用いて許可、依頼、強制の意味を表す英文を正しく書くことができる。 b:使役動詞、知覚動詞を用いて夢のロボットについて書くことができる。 c: 使役動詞、知覚動詞を用いて夢のロボットについ書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
2	Lesson11 Talking about Likes and Dislikes	話すこと （やり取り）	a:動名詞を適切に用いて会話できる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し動名詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えることができる。 c: 事柄や話題について、内容を整理し動名詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えよとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと （発表）	abc: 動名詞を適切に用いて，実際にしていることについて話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:動名詞を用いて実際にしていることやしたことがあることについて説明を正しく書くことができる。 b: 動名詞を用いて自分の趣味について書くことができる。 c: 動名詞を用いて自分の趣味について書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson12 Reporting Something Unusual	話すこと （やり取り）	a:分詞を用いて会話できる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し分詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えることができる。 c: 事柄や話題について、内容を整理し分詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ

※令和5年度以降入学生用

		話すこと （発表）	abc: 分詞を適切に用いて,あるもの・ことによって引き起こされた驚き・喜びについてや，あるひと（もの）・ことがどのような状態のままであるかについて話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:分詞（限定用法）を用いてあるもの、ことに情報を加え説明を正しく書くことができる。 B:分詞を用いて、人や生き物について書くことができる。 C: 分詞を用いて、人や生き物について書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	中間考査			
2	Lesson l 3 Being in Trouble	話すこと （やり取り）	a:使役動詞・分詞構文を適切に用いて会話できる。 b：事柄や話題について、内容を整理し使役動詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えることができる。 c：事柄や話題について、内容を整理し使役動詞を用いて伝えたり、相手から質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと （発表）	abc: 使役動詞・分詞構文を適切に用いて，してもらったことやされたことについて話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a: <get/ have+名詞+過去分詞>を用いてしてもらったことやされたことについての報告正しく書くことができる。 b：使役動詞・分詞構文を用いてトラブルについて書くことができる。 c：使役動詞・分詞構文を用いてトラブルについて書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson l 4 Great Achievement	話すこと （やり取り）	a:関係代名詞を適切に用いて会話できる。 b：事柄や話題について、内容を整理し、関係代名詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 c：事柄や話題について、内容を整理し、関係代名詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと （発表）	abc: 関係代名詞を適切に用いて，どういう人・ものかについて話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:関係代名詞を用いてある人、ものがどういう人でどういうものなのかということを正しく書くことができる。 b：関係代名詞を用いて、あこがれの人を紹介する文について書くことができる。 c：関係代名詞を用いて、あこがれの人を紹介する文について書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
2	Lesson l 5 What’s SDGs	話すこと （やり取り）	a:関係副詞を適切に用いて、会話できる。 b：事柄や話題について、内容を整理し、関係代名詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 c：事柄や話題について、内容を整理し、関係代名詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと （発表）	abc: 関係副詞を適切に用いて,どういう場所なのか，どういう時なのか，またそうである理由について話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:関係副詞を用いてある場所がどういう場所なのかを正しく書くことができる。 b：関係副詞を用いて、おすすめの場所を紹介する文について書くことができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査

※令和5年度以降入学生用

			c：関係副詞を用いて、おすすめの場所を紹介する文について書こうとすることができる。	c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson16 Climate Change	話すこと（やり取り）	a:比較級を適切に用いて会話できる。 b：事柄や話題について、内容を整理し、比較級を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 c：事柄や話題について、内容を整理し、比較級を用いて伝えたり、相手からの質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと（発表）	abc: 比較級を適切に用いて，2つのものや人を比べて話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:<形容詞・副詞の比較級＋than・・・>を用いて2つのもの、2人を比べて差があることについて正しく書くことができる。 b：比較級を用いて、自分が行ってみたい国と日本を比較した文について書くことができる。 c： 比較級を用いて、自分が行ってみたい国と日本を比較した文について書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	期末考査			
3	Lesson17 Food Waste	話すこと（やり取り）	a:最上級を適切に用いて会話できる。 b：事柄や話題について、内容を整理し、最上級を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 c：事柄や話題について、内容を整理し、最上級を用いて伝えたり、相手からの質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと（発表）	abc: 最上級を適切に用いて，いくつかの中で一番なものについて話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:最上級を使う表現を用いて、正しく書くことができる。 b：最上級を使う表現を用いて食品ゴミ問題について正しく書くことができる。 c：最上級を使う表現を用いて食品ゴミ問題について正しく書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
	Lesson18 Water Problem	話すこと（やり取り）	a:仮定法を適切に用いて会話できる。 b：事柄や話題について、内容を整理し、仮定法を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 c：事柄や話題について、内容を整理し、仮定法を用いて伝えたり、相手からの質問に答えようとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ
		話すこと（発表）	abc: 仮定法を適切に用いて，事実と異なることを仮定して話すことができる。	a. パフォーマンス評価 b. ルーブリック c. リフレクション、ポートフォリオ
		書くこと	a:仮定法過去を用いて現実とは違う想像の話について書くことができる。 b：仮定法を用いて、国や地域、文化間の違いについて書くことができる。 c：仮定法を用いて、国や地域、文化間の違いについて書こうとすることができる。	a. パフォーマンス評価、定期考査 b. ルーブリック、定期考査 c. リフレクション、ポートフォリオ

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度